

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 小松崎 明

学位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

(和文名)

1. 地域歯科保健活動の効果的実施方法の開発及び評価に関する研究
2. 地域歯科保健の基盤となるデータの構築に関する研究

(英文名)

1. The evaluation of a community-based oral health care program for prevention effectiveness
2. A field study of oral health public services associated with health promotion

2. 今年度の研究計画

主に以下のようなテーマについての研究活動を実施する予定である

- ・健康の社会的決定要因に関する因果構造モデルの構築
国民生活基礎調査匿名データファイルを活用した分析
- ・地域保健医療資源の効率的活用に関する研究
第6回 NDB データ(都道府県単位)公表ファイルを活用した分析
- ・赤外線サーモグラフィと小型 NIRS を活用した機能評価指標の開発
前年度交付の科研費課題の結果報告を含む関連研究
- ・効果的な地域保健活動、母子保健活動、学校保健活動に関する検討
新潟県学校保健会による委託研究等
新発田市歯科医師会と連携した成人歯科検診データの関連研究

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

予定なし

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

日本口腔衛生学会 代議員、口腔衛生学会雑誌編集委員【指導医、専門医】
甲信越北陸口腔保健研究会 幹事
日本歯科医療管理学会 代議員【認定医】
日本芸術療法学会 会員

3) 公的な委員会等

厚生労働省歯科医師試験委員
新潟県歯科保健医療対策委員会委員
新潟県よい歯の学校園運動審査委員会委員

4. 研究業績

A 著書

1. 小松崎 明(分担) : Q48口呼吸による身体への影響は?. 日本口腔衛生学会編, 於保孝彦監 : 文献ベースで歯科臨床の疑問に答える チェアサイドQ & A 予防歯科編 PART2. 1版, クインテッセンス出版, 東京, 2023. ISBN978-4-7812-0926-5.
2. 小松崎 明(共著・監修): 杉原直樹, 福田雅臣, 川戸貴行, 小松崎 明, 有川量崇監 : 口腔衛生学 2024. 1版, 一世出版, 東京, 2024. ISBN978-4-87078-209-9.

B 原著

1. Tanaka S, Karibe H, Kato Y, Komatsuzaki A, Sekimoto T, Shimomura-Kuroki J. Evaluation of eye movement patterns during reading of mixed dentition panoramic radiographs in dental students. ©◇Pediatr Dent J. 2023; 33: 33-41. doi : 10.1016/j.pdj.2023.01.002.
2. 元井志保, 加藤千景, 小松崎 明, 小野幸絵, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 小松崎 豊, 鴨田剛司. 日常生活に影響する全身および口腔症状の分析 : 平成28年国民生活基礎調査匿名データからの考察. ○口腔衛生会誌. 2023; 73: 270-278. doi : 10.5834/jdh.73.4_270.
3. Kato C, Komtsuzaki A, Ono S, Iguchi A, Arashi K, Motoi S, Susuga M. Subjective Symptoms Linked to Sleep Duration: An Analysis from Japanese National Statistics. ©◇Medicines. 2023; 10: 60(11 pages). doi : 10.3390/medicines10110060.

C 総説・解説

1. 小松崎 明. 巻頭言 指先で扉は開くのか. 歯学 (春季特集号). 2023; 110: 59.

D 報告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

1. 小松崎 明. 第55回全日本歯科学生総合体育大会. 日本歯科大学校友会 KOYU Times. 2023; 43: 2.

E 翻訳

記載事項なし

F 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 元井志保, 小松崎 明, 小野幸絵, 煤賀美緒. 自覚症状の相対的評価に関する検討 : 年齢階級間での比較. 第72回日本口腔衛生学会・総会, 大阪市, 2023年5月19~21日
2. 小松崎 明. 「豊かな人生を育むために ~『食べる』『話す』を支える口腔の大切さ~」第3回 地域で育む健康習慣 伝えたい予防の重要性, 第29期にいがた市民大学 生命・自然科学コース, 新潟市, 2023年7月1日
3. 小松崎 成, 庄子和夫, 井上紗奈, 藤田益伸, 小松崎 明. ストレスと症状認

識との関連性についての検討. 第37回日本心身健康科学会学術集会・総会, さいたま市, 2023年9月9日

4. 小松崎 明, 小野幸絵, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽. 甲信越北陸地域における傷病名「C管理中」の保険請求状況に関する考察. 令和5年度甲信越北陸口腔保健研究会 第34回学術大会, 富山市, 2023年11月18日
5. 小野幸絵, 小松崎 明, 鴨田剛司, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽. 新潟市内の地域茶の間が行う保健活動・介護予防活動への参画. 令和5年度甲信越北陸口腔保健研究会 第34回学術大会, 富山市, 2023年11月18日
6. 小松崎 明. オーラルフレイル予防(口腔機能低下について) 唾液腺マッサージの効果, 松浦地区保健自治会 健康づくり活動, 新潟県新発田市, 2024年1月14日

G 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動現状報告

(令和6年3月31日現在)

氏 名 浅沼 直樹

学 位 歯学博士

1. 研究テーマ

- 1) 有床義歯装着者の口腔機能に関する研究
Study on oral function of denture wearer
- 2) スポーツマウスガードの製作基準の検討
Examination of standard fabrication method for sports mouthguard
- 3) 口腔乾燥症患者の唾液タンパク質の解析
Analysis of salivary protein on oral dryness patient

2. 対外活動（学外講義・学会活動など）

- 1) 他大学での講義
記載事項なし
- 2) 学会活動（査読、理事、評議員など）
 1. 日本歯科医学教育学会代議員
 2. 日本補綴歯科学会関越支部 理事
 3. 日本全身咬合学会 理事
 4. 日本口腔保健学雑誌査読委員
 5. 新潟口腔ケア研究会世話人
 6. 全国大学歯科衛生士教育協議会 理事
- 3) 公的な委員会等
 1. 新潟市介護認定審査会委員
 2. 一般財団法人大学・短期大学基準協会 認証評価連絡調整責任者
 3. 一般財団法人大学・短期大学基準協会 認証評価審査員
 4. 高等教育コンソーシアムにいがた 教育連携部会委員
- 4) 主催学会等
記載事項なし

3. 研究業績

A 著 書

記載事項なし

B 原 著

1. 水橋 史, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大: 全部床義歯装着者の咬合力, 咀嚼能力, 口腔乾燥状態, 全身咬合, Vol. 29 No. 1, 8-14, 2023.

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告 (臨床・症例等)・紀要

記載事項なし

E 翻 訳

記載事項なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 渡會侑子, 浅沼直樹, 鈴木達大, 水橋 史: 高齢者における非接触型三次元形状計測装置を用いた顔面計測法の検討, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会, 横浜市, 2023 年 5 月 19 日~21 日.
2. 水橋 史, 浅沼直樹, 水橋 亮, 渡會侑子, 鈴木達大: 全部床義歯装着者の咬合力と咀嚼能力, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会, 横浜市, 2023 年 5 月 19 日~21 日.
3. 鈴木達大, 浅沼直樹, 渡會侑子, 水橋 史: 咀嚼側における骨格的指標の検討, 公益社団法人日本補綴歯科学会第 132 回学術大会, 横浜市, 2023 年 5 月 19 日~21 日.
4. 鈴木達大, 渡會侑子, 水橋 史: 咀嚼側による咬合力と基準平面の関係について, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会第 34 回学術大会, 豊中市, 2023 年 10 月 28 日. (日咀嚼誌 33 (2), 105, 2023. 11)
5. 水橋 史, 渡會侑子, 鈴木達大: 上顎全部床義歯装着者の口腔機能, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会第 34 回学術大会, 豊中市, 2023 年 10 月 28 日. (日咀嚼誌 33 (2), 106, 2023. 11)
6. 鈴木達大, 浅沼直樹, 渡會侑子, 川名桃香, 永田琴乃, 水橋 史: 咀嚼側における口腔機能と基準平面との関連性, 令和 5 年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会・総会, 新潟市, 2023 年 11 月 5 日.

7. 永田琴乃, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 川名桃香, 水橋 史: 口腔内スキャナーを用いた咬合採得の検討, 令和5年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会・総会, 新潟市, 2023年11月5日.
8. 川名桃香, 浅沼直樹, 渡會侑子, 鈴木達大, 永田琴乃, 水橋 史: 上顎無歯顎における口腔内スキャナーによる印象採得外形印象採得の比較検討, 令和5年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会・総会, 新潟市, 2023年11月5日.
9. 鈴木達大, 水橋 史, 浅沼直樹, 渡會侑子, 川名桃香, 永田琴乃: 全部床義歯装着者の咬合力, 咀嚼能力および口腔乾燥状態, 令和5年度日本歯科大学歯学会第9回ウインターミーティング, 新潟市, 2023年12月2日.
10. 渡會侑子, 浅沼直樹, 鈴木達大, 川名桃香, 永田琴乃, 水橋 史: 高齢者における非接触型三次元形状計測装置を用いた咬合採得の検討, 令和5年度日本歯科大学歯学会第9回ウインターミーティング, 新潟市, 2023年12月2日.
11. 鈴木達大, 浅沼直樹, 渡會侑子, 川名桃香, 永田琴乃, 水橋 史: 習慣性咀嚼側における咬合力と基準平面との関係性, 令和5年度日本歯科大学歯学会第9回ウインターミーティング, 新潟市, 2023年12月2日.
12. 土田智子, 吉村 建, 浅沼直樹, 山際伸一: ワンショット舌粘膜立体視診査システムの開発, 日本歯科大学短期大学第55回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024年2月21日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 浅沼直樹: 元気な体は, お口から ―口腔ケアのお話― , 前橋ひまわり会健康講演, 前橋市 2023年6月17日
2. 浅沼直樹: お口のはなし, しらさわ学童クラブ講演会, 沼田市, 2023年8月18日
3. 浅沼直樹: お口がつくる体の健康, 高志中等教育学校土曜活用講座, 新潟市, 2023年10月7日

以上

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 今井あかね

学位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

- 1) (和文名) 唾液中エクソソームの分離と同定
(英文名) Isolation and identification of exosomes in saliva
- 2) (和文名) 口腔内微生物に対する海藻由来多糖体の影響について
(英文名) Effects of fucoidan on oral microorganisms
- 3) (和文名) 唾液中細胞外小胞のプロテオーム解析
(英文名) Proteome analysis of salivary extracellular vesicles
- 4) (和文名) インプラント治療における味覚変化メカニズムの解明
(英文名) Elucidation of taste change mechanism in implant treatment
- 5) (和文名) ヒノキチオールによるカンジダ菌抑制メカニズムについて
(英文名) Candida inhibition mechanism by hinokitiol
- 6) (和文名) ヒトとペットにおける歯周病原菌の伝播に関する研究
(英文名) Study in periodontal pathogens zoonosis between companion animals and their owners
- 7) (和文名) 口腔内病原菌に対するカテキンの抗菌作用
(英文名) Antibacterial effects of catechins on oral pathogens
- 8) (和文名) 歯科用ピーリングスポンジにおける歯質への影響
(英文名) Effect of dental peeling sponge on tooth structure

2. 今年度の研究計画

- 1) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) (継続), インプラント治療における味覚変化メカニズムの解明 (課題番号; 20K10020), 辻村麻衣子 (代表), 中原 賢, 今井あかね (分担), 2023年度直接・間接経費; 0円 (総額 4,290,000円)
- 2) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) (継続), 納豆菌 *B.subtilis* の口腔医療(齲蝕制御)への新たな有用性の証明 (課題番号; 22K10043), 岡 俊哉 (代表), 新井恭子, 今井あかね (分担), 2023年度直接・間接経費; 1,560,000円 (総額 4,160,000円)
- 3) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) (新規), 健康寿命延伸のための口腔カンジダ症抑制方法の開発—漢方生薬ヒノキチオールに着目

(課題番号 ; 23K09470) 福井佳代子 (代表), 二宮一智, 今井あかね (分担), 原 基, 2023 年度直接・間接経費 ; 1,820,000 円 (総額 4,680,000 円)

- 4) 唾液ペプチドおよび唾液エクソソーム含有タンパク質の検索
- 5) ヒトとペットにおける歯周病原菌の伝播に関する研究 (専攻研究指導)
- 6) 口腔内病原菌に対するカテキンの抗菌作用について (専攻研究指導)
- 7) 歯科用ピーリングスポンジにおける歯質への影響について (専攻研究指導)
- 8) 第 55 回歯科衛生研究会運営 (実行委員長)

3. 対外的活動 (学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

- (ア) 日本歯科大学新潟生命歯学部における講義 (第 2 学年生化学, 第 2 学年生体機能調節学, 第 4 学年総合歯科医学演習)
- (イ) 日本歯科大学新潟生命歯学部における実習 (第 3 学年分子生命科学実習)
- (ウ) 明倫短期大学歯科衛生士学科における講義 (生命現象の科学)
- (エ) 日本歯科大学新潟生命歯学部大学院における共通授業 (実習)

2) 学会活動 (査読、理事、評議員など)

- (ア) 日本唾液腺学会 評議委員 (~ 9 月)・理事 (10 月~)
- (イ) 歯科基礎医学会 代議委員
- (ウ) 日本生化学会 評議委員
- (エ) 日本歯科大学歯学会 評議委員
- (オ) Odontology における査読 (1 編)
- (カ) 日本口腔保健学雑誌における査読 (3 編)

3) 公的な委員会等

- (ア) 高等教育コンソーシアムにいがた教育連携部会委員
- (イ) 新潟市入札等評価委員会委員
- (ウ) 新潟市水道局入札等評価委員会委員

4 研究業績

A 著 書

記載事項なし

B 原 著

記載事項なし

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

記載事項なし

E 翻訳

記載事項なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 今井あかね, 竹澤 晴香, 岡 俊哉. 唾液エクソソーム(細胞外小胞)調製法の違いによるタンパク質の比較. 第 63 回新潟生化学懇話会, 新潟大学医学部, 2023 年 7 月 22 日
2. 福井佳代子, 原 基, 二宮一智, 今井あかね, 仲村健二郎. ヒノキチオール, ラクトフェリン, シスタチンによる *Candida albicans* のフルコナゾール薬剤耐性解除作用, 第 65 回歯科基礎医学会学術集会, 東京都日本大学歯学部, 2023 年 9 月 16~18 日
3. 今井あかね, 煤賀美緒, 竹澤 晴香, 岡 俊哉. 青年期および熟年健常成人女性の唾液エクソソームの特性と調製法の検討, 第 10 回日本細胞外小胞学会学術集会, 北海道大学 2023 年 10 月 23・24 日
4. 岡 俊哉, 螺良 修一, 今井あかね. オーラルヘルスケアへの応用を目指す海藻由来薬効成分フコイダンの研究, 第 96 回日本生化学会大会, 福岡市, 2023 年 10 月 31 日~11 月 2 日
5. 今井あかね, 煤賀 美緒, 山口 晴香[竹澤], 岡 俊哉. 年齢差による唾液エクソソームを含む細胞外小胞の特性とエクソソーム精製法の検討, 令和 5 年度日本歯科大学歯学会第 9 回ウインターミーティング, 日本歯科大学新潟生命歯学部, 2023 年 12 月 2 日.
6. 上村莉乃, 加藤千景, 宮崎晶子, 吉井大貴, 宮野侑子, 鈴木雅也, 今井あかね. 歯科用メラミンスポンジにおける歯質への影響について, 新潟市, 2024 年 2 月 21 日.
7. 三輪陽菜多, 今井あかね. ヒトとペットにおける歯周病原性菌の伝播に関する研究, 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024 年 2 月 21 日.
8. 山田優奈, 土田智子, 三上正人, 今井あかね. 口腔内病原菌に対するカテキンの抗菌作用について, 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024 年 2 月 21 日.

9. 岡 俊哉, 螺良修一, 今井あかね. オーラルヘルスケアへの応用を目指すフコイダンの研究, 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024 年 2 月 21 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演
記載事項なし

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動現状報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 宮崎 晶子
学位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

- 1) 視知覚パターンを活用した教育法の確立
Establishment of educational method utilizing visual perception pattern
- 2) 口腔清掃用具の使用順に関する研究
Study on the order of use of oral cleaning tools
- 3) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究
Research on insertion feeling and insertion pressure of interdental brush
- 4) 歯科用メラミンスポンジにおける歯質への影響
Effect of dental melamine sponge on tooth structure
- 5) 歯科衛生士の倫理綱領に関する教育
Education regarding the code of ethics for dental hygienists

2. 今年度の研究計画

- 1) 視知覚パターンを活用した教育法の確立
『視知覚パターンを活用した教育法の確立～学習評価における眼球運動の軌跡解析～(令和4～6年度科研費 基盤研究C)』として3年計画で研究を進めている。実技を伴う視線教育について、インストラクター側の眼球運動を測定し、経験値による影響を分析した。
- 2) 口腔清掃用具の使用順に関する研究(専攻研究指導)
歯ブラシとデンタルフロスの使用順序がどのように清掃効果に影響を及ぼすかを明らかにし、効果的な口腔清掃指導法を確立することを目的として研究を行い、第55回歯科衛生研究会に口頭発表を行った(2024年2月専攻科

生発表)。

3) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

本調査では歯科衛生士に臨床の場において指導での感覚をもとに顎模型への歯間ブラシの挿入感を記入いただく調査を行い、機械的に挿入して測定した挿入圧との関連性を明らかにした。第19回日本歯科衛生学会学術大会にポスター発表する予定である(2024年9月2演題)。

4) 歯科用メラミンスポンジにおける歯質への影響(専攻研究指導)

牛歯を用いて歯科用メラミンスポンジにおける歯質への影響を明らかにし、第55回歯科衛生研究会に口頭発表を行った(2024年2月専攻科生発表)。

5) 歯科衛生士の倫理綱領の関する教育

日本歯科衛生教育学会教育活動委員として、歯科衛生士の倫理綱領事例集を作成し、その活用方法に関する研究を第19回日本歯科衛生学会学術大会にポスター発表する予定である(2024年9月)。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

- (1) 新潟市立木山小学校
- (2) 新潟市立日和山小学校
- (3) 新潟市立東特別支援学校

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

- (1) 北信越障害者歯科臨床研究会 幹事
- (2) 日本歯科衛生教育学会 理事
- (3) 日本歯科衛生教育学会 評議員
- (4) 日本口腔保健学会 査読委員
- (5) 甲信越北陸口腔保健研究会 幹事

3) 公的な委員会等

- (1) (一社)新潟県歯科衛生士会 専務理事
- (2) (一社)全国歯科衛生士教育協議会 理事
- (3) ISO TC 106/SC7 国際規格作成委員会 日本委員会
WG1 分科会(手用歯ブラシ)
WG2 分科会(電動口腔衛生用具)

WG5 分科会（歯間ブラシ）

（4）日本歯科衛生教育学会 教育活動委員会 委員

（5）新潟市介護認定審査委員

4) 今年度の研究上の特記すべき事項

（1）学会賞

日本歯科衛生学会雑誌 学術論文奨励賞・サンスター財団賞，宮崎晶子，
令和 5 年 9 月 17 日，受賞論文『口腔清掃用具の使用順序が清掃効果に及

ぼ

影響』

4 研究業績

A 著書

- 1) 宮崎晶子（共著）：よくわかる歯科衛生過程，第 1 版第 9 刷，医歯薬出版，東京，2024. ISBN 978-4-263-42205-2.
- 2) 宮崎晶子（分担）：歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 1 版：4 章 補綴治療時の診療補助，医歯薬出版，東京，2024. 138-152. ISBN 978-4-263-42629-6.
- 3) 宮崎晶子（分担）：歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学 第 1 版：3 章 有床義歯治療，医歯薬出版，東京，2024. 患者への説明と指導 133-143, ISBN 978-4-263-42615-9.
- 4) 宮崎晶子（分担）：歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第 1 版：11 章 その他の歯科材料，医歯薬出版，東京，2024. 歯科補綴にかかわる材料 162-170. ISBN 978-4-263-42612-8.
- 5) 宮崎晶子（分担）：歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 1 版：Ⅲ編 2 章 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理，医歯薬出版，東京，2024. 3 認知機能の把握～7 口腔の機能的問題の把握. 128-158. ISBN 978-4-263-42607-4.
- 6) 宮崎晶子（共著）：歯科衛生学辞典，第 2 版第 1 刷，永末書店，京都，2024. ISBN 978-4-8160-1368-3.
- 7) 宮崎晶子（分担）：事例でわかる歯科衛生過程. 全国歯科衛生士教育協議会編，第 1 版第 2 刷，医歯薬出版，東京，2024. 4 章ワークで学ぶ歯科衛生過程. 91-104. ISBN 978-4-263-42258-8.

B 原著

- 1) 松岡萌依, 宮崎晶子, 鈴木雅也, 新海航一: 市販美白歯磨剤を併用したブラッシングによるステイン除去効果とエナメル質表面性状への影響, 歯科の色彩, 29 (1): 16-24, 2023.

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等) ・ 紀要

記載事項なし

E 翻訳

記載事項なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表) ・ 講演会 ・ 研修会 ・ 研究会等での講演

- 1) 中村麻琴, 宮崎晶子: 若年者における口腔清掃用具の使用順序によるプラーク効果, 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024 年 2 月 21 日.
- 2) 上村莉乃, 加藤千景, 宮崎晶子, 吉井大貴, 宮野侑子, 鈴木雅也, 今井あかね: 歯科用メラミンスポンジにおける歯質への影響について, 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟市, 2024 年 2 月 21 日.

H その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2022 年 10 月 1 日 ~ 2023 年 9 月 30 日

研究課題名: 歯間ブラシの挿入感調査および挿入圧との関係研究
~ 顎模型への挿入を介した適正サイズ条件の探索 ~

研究代表者: 宮崎晶子

研究分担者: 三富純子, 土田智子, 元井志保, 菊地ひとみ, 煤賀美緒,
嵐 聖芽, 両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額: 30 万

2) 研究費の名称: デンタルプロ株式会社

種類: 継続

研究期間: 2022 年 10 月 1 日 ~ 2023 年 9 月 30 日

研究課題名: 若者たちの歯間ブラシの挿入可能サイズの評価

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子，宮崎晶子，三富純子，土田智子，元井志保，
菊地ひとみ，煤賀美緒，嵐聖芽

一課題あたりの総取得額：30万

2. 科学研究費

1) 令和4年度 基盤研究(C) (一般)

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：長谷川 優

課題名：視知覚パターンを活用した教育法の確立
～学習評価における眼球運動の軌跡解析～

金額：2,990千円

研究期間：2022年～2024年

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏 名 吉村 建

学 位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

(和文名) 舌・口腔粘膜の比較解剖学ならびに口腔粘膜観察法

(英文名) Comparative anatomy of oral mucosa and methods of observation

2. 今年度の研究計画

科学研究費採択のため、課題を遂行する。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

日本解剖学会評議員

3) 公的な委員会等

4 研究業績

A 著 書

B 原 著

C 総 説・解 説

D 報 告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀 要

E 翻 訳

F 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

G 特別講演・シンポジウム等での講演

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 長谷川 優
学位 博士(歯学)

1. 研究テーマ

- 学生のキャリア選択に影響を与える因子について
Factors influencing students' career choices
- 学童期における矯正歯科治療必要度とカリエス分布の関連について
The Relationship between Index of Orthodontic Treatment Need Dental Health Component (IOTN-DHC) and caries prevalence in School-age Children
- 上顎における中切歯と側切歯の歯冠近遠心幅径の関係について
The relationship of tooth crown dimensions between central and lateral incisor in maxilla
- ブラケット除去後の歯面の耐酸性について
Acid resistance of tooth enamel after orthodontic bracket debonding
- 脱灰したエナメル質に対するブラッシングの影響に関する実験的研究
Study on the effect of brushing on demineralized enamel
- マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびプラーク付着量の変化について
Changes in oral health perception and plaque accumulation in orthodontic patients using multibracket fixed appliances
- 歯科衛生学生における不正咬合者の心理的コンプレックスと矯正歯科治療の影響
Psychological complexes of individuals with malocclusion and the influence of orthodontic treatment amongst dental hygiene students

2. 今年度の研究計画

- 学生のキャリア選択に影響を与える因子について
BMC Medical Education 誌第 23 巻に論文が掲載された。令和 6 年度も、新潟短期大学と日本歯科大学新潟生命歯学部 of 学生を対象としてデータの収集と解析を行う。
全国大学歯科衛生士教育協議会の教育・研究委員会で、協議会会員校のキャリア教育に関するアンケートを実施した。令和 6 年度は、アンケート結果の解析を行う。
- 学童期における矯正歯科治療必要度とカリエス分布の関連について
International Journal of Dental Hygiene 誌に論文が掲載された。令和 6 年度も、モンゴル健康科学大学歯科矯正学講座と連携しつつ研究を継続する。
- 上顎における中切歯と側切歯の歯冠近遠心幅径の関係について
本テーマに関連する論文 ” The relationship of tooth crown dimensions between first molar and central incisor in maxilla” が Odontology 誌に掲載された。令和 6 年度も、資料を収集しつつ永久歯の歯冠形態に関する研究を継続する。
- ブラケット除去後の歯面の耐酸性について
令和 6 年度も引き続き、試料の Micro-CT 画像撮影と解析を行う。
- 脱灰したエナメル質に対するブラッシングの影響に関する実験的研究
日本口腔保健学雑誌に論文が受理された。第 14 巻 1 号に掲載予定である。
- マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびプラーク付着量の変化について
日本口腔保健学雑誌に論文が受理された。第 14 巻 1 号に掲載予定である。
- 歯科衛生学生における不正咬合者の心理的コンプレックスと矯正歯科治療の影響
日本口腔保健学雑誌第 13 巻 1 号に論文が掲載された。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

該当なし

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

- ・ 甲北信越矯正歯科学会雑誌編集委員会 委員
- ・ European Journal of Dental Education 査読委員
- ・ Journal of Dental Education 査読委員
- ・ Clinical and Investigative Orthodontics 査読委員
- ・ Odontology 査読委員

3) 公的な委員会等

- ・ 全国大学歯科衛生教育協議会 教育・研究委員会 委員長
- ・ 高等教育コンソーシアムにいがた歯科系タスクフォース部会 委員
- ・ 新潟市介護認定審査会 委員

4 研究業績

A 著書

1. 長谷川優（分担）：1章 歯科矯正学概論. 新井一仁, 佐藤 聡, 山田小枝子 編:歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学.2版, 医歯薬出版, 東京, 2023, 3-12.

B 原著

1. *Yuh Hasegawa, Nomintsetseg Batbayar, Nomingerel Sukhbaatar, Amarsaikhan Bazar, Ikuo Kageyama: The Relationship between Index of Orthodontic Treatment Need Dental Health Component (IOTN-DHC) and caries prevalence in School-age Children, ☆◎ Int J Dent Hygiene, 21: 582-589, 2023.
2. Hitomi Kikuchi, *Yuh Hasegawa, Ikuo Kageyama: The relationship of tooth crown dimensions between first molar and central incisor in maxilla, ☆ ◎ Odontology, 111:1003-1008, 2023.
3. Yasuyuki Takahashi, Asami Iguchi, Shiho Motoi, Mio Susuga, *Yuh Hasegawa: Dental hygiene and dental students' motivations for future work: a cross-sectional study of first-year students at a dental hygiene school and a dental school in Japan, ☆ ◎ BMC Medical Education, 23: 875, 2023.

4. 和田智恵, *長谷川優: 歯科衛生学生における不正咬合者の心理的コンプレックスと矯正歯科治療の影響, ○ 日口腔保健誌, 13 : 1-7, 2023.
5. *筒井紀子, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 長谷川優, 葭原明弘: 歯科診療所通院患者における不安の要因に関する研究 —Modified Dental Anxiety Scale 日本語版 (MDAS-J) を用いた分析—, ○ 新潟歯学会誌, 53 : 57-63, 2023.

C 総説・解説

該当なし

D 報告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

1. *小出勝典, 内田喜昭, 飯島重樹, 長谷川優: 下顎右側第二・第三大臼歯の近心移動を併用した成人 Angle II級骨格性開咬症例, 甲北信越矯歯誌, 31 : 51-57, 2023.

E 翻訳

該当なし

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 煤賀美緒, 元井志保, 嵐 聖芽, 土田智子, 長谷川優: 専門職間教育を見据えた歯科衛生士と歯科医師に対する歯科衛生士学生の認識 —テキストマイニングによる縦断的研究—, 日衛教育誌, 14(2): 12, 2023.
2. 束理頼亮, 長谷川優: 矯正用ブラケット撤去後のエナメル質耐酸性に関する研究, 第 65 回日本歯科基礎医学会学術大会, 東京都千代田区, 2023 年 9 月 16 日.
3. 星野紗波, 煤賀美緒, 長谷川優: マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびプラーク付着量の変化について, 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟県新潟市, 2024 年 2 月 21 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

該当なし

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 渡辺 みのり

学位 博士(理学)

1. 研究テーマ

1. Belle II 実験のための分散コンピューティングシステムの研究
(R&D of distributed computing system for Belle II experiment)
2. Belle 実験における稀崩壊過程の研究
(The study of rare decay at Belle)
3. 常温硬化プラスチックシンチレータの開発
(Development of plastic scintillator cured at room temperature)
5. 有機半導体放射線検出器の開発
(Study on the Organic Semiconductor Radiation Detectors)
6. 原子炉ニュートリノ検出器の開発
(The development of reactor neutrino monitor)

2. 今年度の研究計画

1. Belle II 実験のための分散コンピューティングシステムの研究
2. Belle 実験における稀崩壊過程の研究
3. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B)継続
常温硬化樹脂を用いた大面積薄膜プラスチックシンチレータによる α 線検出器開発(課題番号:20K14494), 渡辺みのり
4. 原子炉ニュートリノ検出器の開発

3. 対外活動

- 1) 他大学での講義
 - (1) 日本歯科大学新潟生命歯学部における講義
熱と物質の物理学 第1学年
 - (2) 日本歯科大学新潟生命歯学部における学生実習
情報科学の実習, 第1学年
歯科入門実習(物理分野), 第1学年
- 2) 学会活動(査読, 理事, 評議委員など)

記載事項なし

3) 公的な委員会等

記載事項なし

4. 研究業績

A. 著書

記載事項なし

B. 原著

1. Ma Y, Yelton J, Tanida K, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (128, **184th**) (197 authors). First Observation of $\Lambda\pi^+$ and $\Lambda\pi^-$ Signals near the $\bar{K}N(I=1)$ Mass Threshold in $\Lambda+c\rightarrow\Lambda\pi^+\pi^+\pi^-$ Decay. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 130: 151903-1- 151903-7. doi : 10.1103/PhysRevLett.130.151903.

2. Gong G, Li L. K, Zhang Y, Yan W, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (126, **184th**) (197 authors). Study of $e+e\rightarrow\Sigma^0\Sigma^0$ and $\Sigma^+\Sigma^-$ by initial state radiation method at Belle. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 107: 072008-1-072008-14. doi : 10.1103/PhysRevD.107.072008.

3. Abudinén F, Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahlburg P, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (364, **544th**) (579 authors). Observation of $B\rightarrow D^{(*)}K-K^0S$ decays using the 2019-2022 Belle II data sample.◇arXiv. 2023; 1-17. doi : 10.48550/arXiv.2305.01321.

1. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (255, **377th**) (400 authors). Search for Lepton-Flavor-Violating τ Decays to a Lepton and an Invisible Boson at Belle II. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 130: 181803-1-181803-7. doi : 10.1103/PhysRevLett.130.181803.

2. Abudinén F, Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahlburg P, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (364, **544th**) (579 authors). Search for lepton-flavor-violating $\tau\rightarrow l-\phi$ decays in 2019-2021 Belle II data.◇arXiv. 2023; 1-17. doi : 10.48550/arXiv.2305.04759.

3. Meier F, Vossen A, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (133, **190th**) (203 authors). First observation of $B\rightarrow\bar{D}1(\rightarrow\bar{D}\pi^+\pi^-)l+\nu l$ and measurement of the $B\rightarrow\bar{D}^{(*)}\pi l+\nu l$ and $B\rightarrow\bar{D}^{(*)}\pi^+\pi^-l+\nu l$ branching fractions with hadronic tagging at Belle. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 107: 092003-1-092003-23. doi : 10.1103/PhysRevD.107.092003.

4. Abudinén F, Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (251, **372th**) (395 authors). Measurement of the B^0 lifetime and flavor-oscillation frequency using hadronic decays reconstructed in 2019–2021 Belle II data.

- ☆ ©Phys. Rev. D. 2023; 107: L091102-1-L091102-9. doi :
10.1103/PhysRevD.107.L091102.
5. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (246, **365th**) (386 authors). Search for an Invisible Z' in a Final State with Two Muons and Missing Energy at Belle II. ☆©Phys. Rev. Lett. 2023; 130: 231801-1-231801-8. doi : 10.1103/PhysRevLett.130.231801.
 6. Abudinén F, Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (271, **402th**) (427 authors). Measurement of the branching fraction and CP asymmetry of $B^0 \rightarrow \pi^0 \pi^0$ decays using $198 \times 10^6 B^+ B^-$ pairs in Belle II data. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 107: 112009-1-112009-10. doi : 10.1103/PhysRevD.107.112009.
 7. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (258, **379th**) (398 authors). Novel method for the identification of the production flavor of neutral charmed mesons. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 107: 112010-1-112010-15. doi : 10.1103/PhysRevD.107.112010.
 8. Prim M. T, Bernlochner F, Metzner F, Lieret L, Kuhr T, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (138, **200th**) (214 authors). Measurement of differential distributions of $B \rightarrow D^* \Gamma \nu l$ and implications on $|V_{cb}|$. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 108: 012002-1-012002-21. doi : 10.1103/PhysRevD.108.012002.
 9. Teramoto Y, Uehara S, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (129, **191th**) (205 authors). First measurement of the Q^2 distribution of $X(3915)$ single-tag two-photon production. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 108: 012004-1-012004-10. doi :
10.1103/PhysRevD.108.012004.
 10. Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (225, **332th**) (352 authors). Test of Light-Lepton Universality in the Rates of Inclusive Semileptonic B-Meson Decays at Belle II. ☆©Phys. Rev. Lett. 2023; 131: 051804-1-051804-7. doi : 10.1103/PhysRevLett.131.051804.
 11. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (275, **401th**) (420 authors). Measurement of the τ -lepton mass with the Belle II experiment. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 108: 032006-1-032006-9. doi :
10.1103/PhysRevD.108.032006.
 12. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (276, **409th**) (427 authors). Measurement of branching-fraction ratios and CP asymmetries in $B_{\pm} \rightarrow DCP^{\pm} K^{\pm}$ decays at Belle and Belle II. ◇arXiv. 2023; 1-26. doi : 10.48550/arXiv.2308.05048.
 13. Zhukova V, Mizuk R, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (124, **180th**) (190 authors). Measurement of the $e^+e^- \rightarrow$ cross section in the energy range from 10.63 to 11.02 GeV using inclusive and D^0 production. ☆©JHEP. 2023; 131: 1-29. doi : 10.1007/JHEP08(2023)131.

14. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (261, 383th) (401 authors). Measurement of CP Violation in $B^0 \rightarrow K^0 S \pi^0$ Decays at Belle II. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 131: 111803-1-111803-8. doi : 10.1103/PhysRevLett.131.111803.
15. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (298, **441th**) (466 authors). Search for a $\tau^+ \tau^-$ resonance in $e^+ e^- \rightarrow \mu^+ \mu^- \tau^+ \tau^-$ events with the Belle II experiment. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 131: 121802-1-121802-8. doi : 10.1103/PhysRevLett.131.121802.
16. Adachi I, Aggarwa L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (261, 388th) (408 authors). Measurement of CP asymmetries and branching- fraction ratios for $B^\pm \rightarrow DK^\pm$ and $D\pi^\pm$ with $D \rightarrow K^0 S K^\pm \pi^\mp$ using Belle and Belle II data. ◇JHEP. 2023; 146: 1-26. doi : 10.1007/JHEP09(2023)146.
17. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (278, **415th**) (434 authors). Measurement of CP asymmetries in $B^0 \rightarrow \phi K^0_s$ decays with Belle II. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 108: 072012-1-072012-10. doi : 10.1103/PhysRevD.108.072012.
18. Adachi I, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, Aloisio A, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (242, **345th**) (361 authors). Precise Measurement of the D_{s^+} Lifetime at Belle II. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 131: 171803-1-171803-7. doi : 10.1103/PhysRevLett.131.171803.
19. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (270, **400th**) (418 authors). Tests of Light-Lepton Universality in Angular Asymmetries of $B^0 \rightarrow D^{*-} l \nu$ Decays. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 131: 181801-1-181801-7. doi : 10.1103/PhysRevLett.131.181801.
20. Liventsev D, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (122, **177th**) (191 authors). Search for a Heavy Neutrino in τ Decays at Belle. ☆©Phys. Rev. Lett.. 2023; 131: 211802-1-211802-7. doi : 10.1103/PhysRevLett.131.211802.
21. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (295, **433th**) (454 authors). Evidence for $B^+ \rightarrow K^+ \nu \bar{\nu}$ Decays. ◇arXiv. 2023; 1-29. doi : 10.48550/arXiv.2311.14647.
22. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (287, **422th**) (442 authors). Determination of $|V_{cb}|$ using $B^0 \rightarrow D^{*+} l^- \bar{\nu}_l$ decays with Belle II. ☆©Phys. Rev. D. 2023; 108: 092013-1-092013-26. doi : 10.1103/PhysRevD.108.092013.
23. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (277, **403th**) (421 authors). Search for the $e^+ e^- \rightarrow \eta_b(1S) \omega$ and $e^+ e^- \rightarrow \chi$

- $b_0(1P)\omega$ processes at $s\sqrt{=}10.745\text{GeV}$. \diamond arXiv. 2024; 1-8. doi : 10.48550/arXiv.2312.13043.
24. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (271, **394th**) (413 authors). Search for a long-lived spin-0 mediator in $b \rightarrow s$ transitions at the Belle II experiment. $\star\odot$ Phys. Rev. D. 2023; 108: L111104-1-L111104-7. doi : 10.1103/PhysRevD.108.L111104.
25. Moon H. K, Won E, (Belle Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (134, **192th**) (207 authors). Search for CP violation in $D^+(s) \rightarrow K^+ K^0 S^+ h^-$ ($h=K, \pi$) decays and observation of the Cabibbo-suppressed decay $D^+ s \rightarrow K^+ K^- K^0 S^+ \pi^+$. $\star\odot$ Phys. Rev. D. 2023; 108: L111102-1-L111102-7. doi : 10.1103/PhysRevD.108.L111102.
26. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (285, **416th**) (437 authors). Measurement of branching fractions and direct CP asymmetries for $B \rightarrow K\pi$ and $B \rightarrow \pi\pi$ decays at Belle II. $\star\odot$ Phys. Rev. D. 2024; 109: 012001-1-012001-12. doi : 10.1103/PhysRevD.109.012001.
27. Adachi I, Adamczyk K, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (286, **416th**) (436 authors). A test of lepton flavor universality with a measurement of $R(D^*)$ using hadronic B tagging at the Belle II experiment. \diamond arXiv. 2024; 1-16. doi : 10.48550/arXiv.2401.02840.
28. Adachi I, Aggarwal L, Ahmed H, Aihara H, Akopov N, (Belle II Collaboration), Ono H, **Watanabe M** (294, **432th**) (452 authors). Measurement of CP asymmetries in $B^0 \rightarrow K^0 S^+ K^0 S^+ K^0 S^+$ decays at Belle II. \diamond arXiv. 2024; 1-10. doi : 10.48550/arXiv.2403.02590. $\star\odot$
29. 宮田 恵理, 宮田 等, 深澤 永里香, 早坂 圭司, 勝亦 正明, 小野 裕明, 渡辺 みのり, 齋藤 栄輔, 清野 義敬, 梅山 晃典, 佐藤 誠, 鈴木 崇民, 田村 正明, 有機半導体放射線検出器の開発, 日本アイソトープ協会 73 巻(2024)1 号, doi: <https://doi.org/10.3769/radioisotopes.73.1>

- C. 解説・総説
記載事項なし
- D. 報告・紀要
記載事項なし
- E. 翻訳
記載事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 張 同書¹, 宮田 恵理¹, 深澤 永里香², 宮田 等³, 早坂 圭司^{3,4}, 勝亦 正明⁵, 小野 裕明⁶, 渡辺 みのり⁶, 斎藤 栄輔⁷, 清野 義敬⁸, 梅山 晃典⁹, 佐藤 誠⁹, 鈴木 崇民⁹, 田村 正明⁹, (足利大¹, 群馬高専², 新潟大³, KEK⁴, 神奈川県衛生研究所⁵, 日本歯科大⁶, 長野高専⁷, 富山高専⁸, 日本カーリット株式会社⁹), 画像処理を用いた有機半導体放射線検出器の開発, 応用物理学会 春季学術公演会, 2024年3月23日
2. 深澤 永里香¹, 宮田 等², 宮田 恵理³, 早坂 圭司², 勝亦 正明⁴, 小野 裕明⁵, 渡辺 みのり⁵, 斎藤 栄輔⁶, 清野 義敬⁷, 梅山 晃典⁸, 佐藤 誠⁸, 鈴木 崇民⁸, 田村 正明⁸, (群馬高専¹, 新大自², 足利大³, 神奈川県衛生研⁴, 日本歯科大⁵, 長野高専⁶, 富山高専⁷, 日本カーリット(株)⁸), 有機半導体と高密度無機物質を用いた新型放射線検出器の研究, 応用物理学会 秋季学術講演会, 2023年9月23日

G. 特別講演・シンポジウム講演

記載事項なし

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 土田 智子
学位 博士(口腔保健福祉学)

1. 研究テーマ

1) 口腔粘膜表面の微細形態学的観察とバイオフィルムのプロファイリングに関する研究

Study on micro-morphological observations of oral mucosal surfaces and biofilm profiling

2) 歯科衛生士学生が考える職業イメージ

Dental hygiene students' image of the dental hygienist: Text mining analysis

3) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

Research on insertion feeling and insertion pressure of interdental brush

2. 今年度の研究計画

1) 口腔粘膜表面の微細形態学的観察とバイオフィルムのプロファイリングに関する研究

プリズムの大きさを変更した新型口腔粘膜観察装置の効果を検証しつつ、これらの手法により包括的に口腔粘膜を検証する。

2) 歯科衛生士、歯科医師学生に対して歯科医師のイメージ調査を行い、比較分析した結果について日本歯科衛生教育学会の学術大会にて発表した。

3) 歯間ブラシの挿入感と挿入圧に関する研究

本調査では歯科衛生士に臨床の場において指導での感覚をもとに顎模型への歯間ブラシの挿入感を記入いただく調査を行い、機械的に挿入して測定した挿入圧との関連性を明らかにした。第19回日本歯科衛生学会学術大会にポスター発表する予定である(2024年9月2演題)。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

該当なし

2) 学会活動（査読、理事、評議員など）

(1) 歯科衛生教育学会 学術委員会 委員

3) 公的な委員会等

(1) 歯科衛生士国家試験 試験委員

(2) 新潟市介護認定審査委員

4 研究業績

A 著書

③分担

1) 土田智子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 第1版 医歯薬出版株式会社, 6・8章分担 ISBN 978-4-263-42612-8. 2024年1月20日 第1版第2刷発行

2) 土田智子 (分担) : 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第1版 医歯薬出版株式会社 I編 5章⑤・⑥分担 ISBN 978-4-263-42629-6. 2024年1月20日 第1版第2刷発行

B 原著

該当なし

C 総説・解説

該当なし

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

該当なし

E 翻訳

該当なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 煤賀美緒, 元井 志保, 嵐 聖芽, 土田 智子, 長谷川 優. 専門職間教育を見据えた歯科衛生士と歯科医師に対する歯科衛生士学生の認識－テキストマイニングによる縦断的研究－. 第14回日本歯科衛生教育学会学術大会, 東京都, 2023年12月2～3日.

2. 山田優奈, 土田智子, 三上正人, 今井あかね. 口腔内病原菌に対するカテキンの抗菌作用について. 第55回歯科衛生研究会, 新潟, 2024年2月21日

3. 土田智子, 吉村 建, 浅沼直樹, 山際伸一. ワンショット舌粘膜立体視診査システムの開発. 第55回歯科衛生研究会, 新潟, 2024年2月21日

G 特別講演・シンポジウム等での講演
該当なし

H. その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2022年10月1日～2023年9月30日

研究課題名：歯間ブラシの挿入感調査および挿入圧との関係研究
～顎模型への挿入を介した適正サイズ条件の探索～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：三富純子, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽,
両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額：30万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2022年10月1日～2023年9月30日

研究課題名：若者たちの歯間ブラシの挿入可能サイズの評価

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子, 宮崎晶子, 三富純子, 土田智子, 元井志保,
煤賀美緒, 嵐聖芽

2. 科学研究費

1) 令和5年度 基盤研究(C) (一般)

研究代表者：土田智子

研究分担者：山際伸一

研究分担者：吉村 建

課題名：ワンショット舌粘膜立体視診査システムの開発

金額：4290 千円

研究期間：2020 年～2023 年. 期間延長申請

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 加藤 千景
学位 博士(歯科)

1. 研究テーマ

(和文名) Er:YAG レーザー切削した象牙質面の微細構造分析とレジン接着強さの検討

(英文名) Micromorphology analysis of deciduous dentins abraded with Er:YAG laser and investigation of their bond strength to resin composite

2. 今年度の研究計画

Er:YAG レーザー切削した象牙質面の微細構造分析とレジン接着強さの検討

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

記載事項なし

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

記載事項なし

3) 公的な委員会等

記載事項なし

4 研究業績

A 著書

記載事項なし

B 原著

1. 元井志保, 加藤千景, 小松崎 明, 小野幸絵, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 小松崎 豊, 鴨田剛司. 日常生活に影響する全身および口腔症状の分析 : 平成28年国民生活基礎調査匿名データからの考察. ○口腔衛生会誌. 2023; 73: 270-278. doi : 10.5834/jdh.73.4_270.

2. Kato C, Komtsuzaki A, Ono S, Iguchi A, Arashi K, Motoi S, Susuga M. Subjective Symptoms Linked to Sleep Duration: An Analysis from Japanese National Statistics. ©◇Medicines. 2023; 10: 60(11 pages). doi : 10.3390/medicines10110060.

C 総説・解説

記載事項なし

D 報告(臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

記載事項なし

E 翻訳

記載事項なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 上村莉乃, 加藤千景, 宮崎晶子, 吉井大貴, 宮野侑子, 鈴木雅也, 今井あかね. 歯科用メラミンスポンジにおける歯質への影響について. 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟, 2024 年 2 月 21 日
2. 加藤千景. レーザー切削象牙質面のプライマー浸透性と熱変性層の関係について. 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟, 2024 年 2 月 21 日

G 特別講演・シンポジウム等での講演

記載事項なし

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏 名 元井志保

学 位 学士(教育学)

1. 研究テーマ

(和文名)

(英文名)

1) 睡眠時間に関わる自覚症状：日本の統計からの分析

Subjective Symptoms Linked to Sleep Duration: An Analysis
from Japanese National Statistics

2) 日常生活に影響する全身および口腔症状の分析：平成28年国民生活基礎調査匿名データからの考察

The effect of systemic and oral symptoms on daily living: A discussion based
on anonymized data from the Comprehensive Survey of Living Conditions
2016

2. 今年度の研究計画

1) 歯科衛生士、歯科医師学生に対して歯科医師のイメージ調査を行い、比較分析した結果について日本歯科衛生教育学会の学術大会にて発表した。

2) 睡眠時間減少に関する危険因子分析のため統計データを用いて分析した結果を Medicines (オンラインジャーナル) へ投稿した。

3) : 平成28年国民生活基礎調査匿名データから日常生活に影響する全身および口腔症状の分析を行い、口腔衛生学会雑誌へ投稿した。

3. 対外的活動(学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

2) 学会活動(査読、理事、評議員など)

3) 公的な委員会等

4 研究業績

A 著書

B 原著

1) Yasuyuki Takahashi, Asami Iguchi, Shiho Motoi, Mio Susuga, Yuh Hasegawa: Dental hygiene and dental students' motivations for future work: a cross-sectional study of first-year students at a dental hygiene school and a dental school in Japan, ☆ © BMC Medical Education, 23: 875, 2023.

2) 元井志保, 加藤千景, 小松崎 明, 小野幸絵, 嵐 聖芽, 煤賀美緒, 小松崎 豊, 鴨田剛司, 日常生活に影響する全身および口腔症状の分析: 平成 28 年国民生活基礎調査匿名データからの考察. 口腔衛生学会雑誌 2023,73 (4) ,270-278.

3) Chikage Kato , Akira Komatsuzaki , Sachie Ono , Asami Iguchi , Kiyoka Arashi , Shiho Motoi ,Mio Susuga. Subjective Symptoms Linked to Sleep Duration: An Analysis from Japanese National Statistics, Medicines 2023, 10, 60. <https://doi.org/10.3390/medicines10110060>.

C 総説・解説

D 報告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

E 翻訳

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 煤賀美緒, 元井志保, 嵐 聖芽, 土田 智子, 長谷川 優. 専門職間教育を見据えた歯科衛生士と歯科医師に対する歯科衛生士学生の認識－テキストマイニングによる縦断的研究－. 第 14 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 東京都, 2023 年 12 月 2～3 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏名 煤賀美緒
学位 学士(人間環境学)

1. 研究テーマ

1) 歯科衛生士学生が考える職業イメージ

Dental hygiene students' image of the dental hygienist: Text mining analysis

2) 睡眠時間に関わる自覚症状の研究

Research on subjective symptoms related to sleep time

3) マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心と口腔清掃の研究（専攻研究指導）

Research on oral hygiene and interest in the oral cavity of multi-bracket device wearers

2. 今年度の研究計画

1) 歯科衛生士、歯科医師学生に対して歯科医師のイメージ調査を行い、比較分析した結果について日本歯科衛生教育学会の学術大会にて発表した。

2) 睡眠時間減少に関する危険因子分析のため統計データを用いて分析した結果を Medicines（オンラインジャーナル）へ投稿した。

3) マルチブラケット装置装着群と未装着群の口腔内への関心度と口腔清掃補助用具資料に関して調査分析を行い、第55回歯科衛生研究会に口頭発表を行った（2024年2月専攻科生発表）。

3. 対外的活動（学外講義・学会活動など）

1) 他大学での講義

(1) 新潟市立木山小学校

(2) 新潟市立日和山小学校

(3) 新潟市立東特別支援学校

2) 学会活動 (査読、理事、評議員など)

3) 公的な委員会等

(1) 高等教育コンソーシアム新潟 歯科系タスクフォース部会 委員

(2) 全国大学歯科衛生士教育協議会 教育研究委員会 委員

(3) 北信越障害者歯科臨床研究会 幹事

4 研究業績

A 著書

B 原著

1. Chikage Kato, Akira Komatsuzaki, Sachie Ono, Asami Iguchi, Kiyoka Arashi, Shiho Motoi, Mio Susuga. Subjective Symptoms Linked to Sleep Duration: An Analysis from Japanese National Statistics. ©Medicines 10 : 11, 2023.

2. Yasuyuki Takahashi, Asami Iguchi, Shiho Motoi, Mio Susuga, Yuh Hasegawa: Dental hygiene and dental students' motivations for future work: a cross-sectional study of first-year students at a dental hygiene school and a dental school in Japan, ©BMC Medical Education, 23: 875, 2023.

3. 元井志保, 長谷川優, 煤賀美緒, 土田智子, 三富純子, 宮崎晶子: 歯科衛生士学生
が考える職業イメージ — テキストマイニング分析による検討 —, ©日衛学誌, 17 :
20-28, 2023.

C 総説・解説

D 報告 (臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等)・紀要

E 翻訳

F 学術大会 (口演・ポスター発表)・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 煤賀美緒, 元井 志保, 嵐 聖芽, 土田 智子, 長谷川 優. 専門職間教育を見据えた歯科衛生士と歯科医師に対する歯科衛生士学生の認識—テキストマイニングによる縦断的研究—. 第 14 回日本歯科衛生教育学会学術大会, 東京都, 2023 年 12 月 2～3 日.

2. 星野紗波, 煤賀美緒, 長谷川優. マルチブラケット装置装着者の口腔内への関心度およびプラーク付着用の変化. 第 55 回歯科衛生研究会, 新潟県, 2024 年 2 月 21 日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

H. その他

1. 外部研究費

1) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

研究課題名：歯間ブラシの挿入感調査および挿入圧との関係研究
～ 顎模型への挿入を介した適正サイズ条件の探索 ～

研究代表者：宮崎晶子

研究分担者：三富純子, 土田智子, 元井志保, 煤賀美緒, 嵐 聖芽,
両角祐子, 高塩智子

一課題あたりの総取得額：30 万

2) 研究費の名称：デンタルプロ株式会社

種類：継続

研究期間：2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日

研究課題名：若者たちの歯間ブラシの挿入可能サイズの評価

研究代表者：両角祐子

研究分担者：高塩智子, 宮崎晶子, 三富純子, 土田智子, 元井志保,
煤賀美緒, 嵐聖芽

令和5年度 日本歯科大学新潟短期大学 活動状況報告

(令和6年3月31日現在)

氏 名 嵐 聖芽

学 位 学士 (口腔保健学)

1. 研究テーマ

) 歯科衛生士学生が考える職業イメージ

Dental hygiene students' image of the dental hygienist: Text mining analysis

) 睡眠時間に関わる自覚症状の研究

Research on subjective symptoms related to sleep time

2. 今年度の研究計画

) 歯科衛生士、歯科医師学生に対して歯科医師のイメージ調査を行い、比較分析した結果について日本歯科衛生教育学会の学術大会にて発表した。

) 睡眠時間減少に関する危険因子分析のため統計データを用いて分析した結果を Medicines (オンラインジャーナル) へ投稿した。

3. 対外的活動 (学外講義・学会活動など)

1) 他大学での講義

該当なし

2) 学会活動 (査読、理事、評議員など)

該当なし

3) 公的な委員会等

該当なし

4 研究業績

A 著 書

該当なし

B 原 著

1. Chikage Kato, Akira Komatsuzaki, Sachie Ono, Asami Iguchi, Kiyoka Arashi, Shiho Motoi, Mio Susuga. Subjective Symptoms Linked to Sleep

Duration: An Analysis from Japanese National Statistics.○Medicines 2023 ;
10 : 11

C 総説・解説

該当なし

D 報告（臨床・症例・研究・商業誌での総説や解説等）・紀要

該当なし

E 翻訳

該当なし

F 学術大会（口演・ポスター発表）・講演会・研修会・研究会等での講演

1. 煤賀美緒, 元井 志保, 嵐 聖芽, 土田 智子, 長谷川 優. 専門職間教育を見据えた歯科衛生士と歯科医師に対する歯科衛生士学生の認識－テキストマインニングによる縦断的研究－. 第14回日本歯科衛生教育学会学術大会, 東京都, 2023年12月2～3日.

G 特別講演・シンポジウム等での講演

該当なし